

公明議会 news

ニュース

新年号(臨時号)

- 発行／公明党川崎市議会議員団
- 住所／川崎区宮本町1丁目 TEL：200-3361
- 発行人／小林貴美子 ●編集人／平子瀧夫

川崎区



小林 きみこ

高津区



ごとう 晶一

川崎区



岩崎 よしゆき

高津区



岡村 テル子

川崎区



浜田 まさとし

宮前区



平子 たきお

幸区



ぬまざわ 和明

宮前区



山田 はるひこ

幸区



かわの 忠正

多摩区



本間 えつお

中原区



志村 まさる

多摩区



すがわら 進

中原区



吉岡 としすけ

麻生区



はなわ 孝一

阿部市長に緊急要請!

世界的経済危機で 非正規労働者の 雇用・住宅確保

世界的な経済危機の中、公明党川崎市議団は阿部市長に市民を守るという観点から市としての緊急雇用対策や住宅確保策などを要望、申し入れを行いました。要望は以下の3項目。

- ①市民の雇用を守るため、非正規従業員等に対し、安易な解雇をしないよう、市内各団体・企業に申し入れること。
- ②企業の倒産や業績悪化による解雇等で住む家や職を失った労働者等に対し、市営住宅等での住居確保、市の臨時職員としての採用や再就職のためのあらゆるバックアップ策を推進すること。
- ③セーフティーネットとして、各区役所における生活総合相談窓口の設置を図ること。

これらの要望を受け市長は、市内では三菱ふそうが500人の非正規職員の解雇を発表し、大変厳しい状況と認識している。

雇用策として定額給付金事務手続きのアルバイトや放置自転車対策、たばこのぼい捨て対策など400人の雇用を予定。

また住宅確保については市営住宅を確保し6か月程度の期間住居の確保を図ることなどを明らかにしました。さらに、溝口の「てくのかわさき」内に相談窓口の設置を約束しました。



阿部川崎市長に申し入れをする公明党川崎市議団

がん医療対策の強化を!!

10年後には国民の二人に一人は、がんに罹るといわれています。がん対策の柱である放射線治療・緩和ケア・がん登録の重要性を訴えながら最先端の重粒子線治療等も含めた本市の取り込みを推進しています。

昨年7月には最新鋭の放射線治療システム「ライナック」を市立川崎病院に導入し、市立井田病院は地域がん診療連携拠点病院としてがん治療の中核を担います。

再編整備計画のなかでさらなる拡充策が進められています。



肝炎検査体制の充実を!!

薬害肝炎の原因であるフィブリノゲン血液製剤が投与された病院名が明らかになりました。保健所では心当たりのある市民に対して無料検査を行ってきましたが、希望者が多く間に合いません。昨年4月から民間病院でも無料検査が



受けられることを一層周知することになりました。

また、市立各病院ではカルテを電子化し永久保存できるようになりました。

学校トイレを明るく、 400教室を冷房化!!

行革効果の還元策として、小学校中心に40カ所のトイレを改修整備。洋式化を進め、照明を増やし、消臭効果のある光触媒塗料を採用してニオイ対策も図ります。

また、中学校20校400教室に冷房設備も設置し、快適教室へ。

トイレ整備と教室の冷房化は、来年以降も継続。小中学校の教育環境は大きく改善します!



保育所待機児童をなくせ!!

川崎市では、保育緊急5カ年計画に基づき、待機児解消に取り組んでいます。しかし、昨年4月の入園希望者のうち、2,054件の内定不承諾が発生する事態となっています。

これを解消するため市として早期の緊急計画達成を目指す一方、

企業内保育所などへの助成の拡充など、待機児解消へ一段と踏み込んだ取り組みが始まります。



産科・小児科医不足対策と 救急医療体制の整備を!!

小児救急医療体制については、小児救急センターを中心とした一次救急医療、病院群輪番制病院5病院による第二次救急医療、聖マリアンナ医科大学病院、日本医科大学病院、市立川崎病院による第三次救急医療の体制を整備しています。

しかし、重篤な患者の治療中であることや、病床が満床などの理由で断られることがあります。医師確保対策と待遇改善や診療報酬の見直しを国に対して引き続き要望します。



※一次救急(入院治療が必要なく外来で対処)

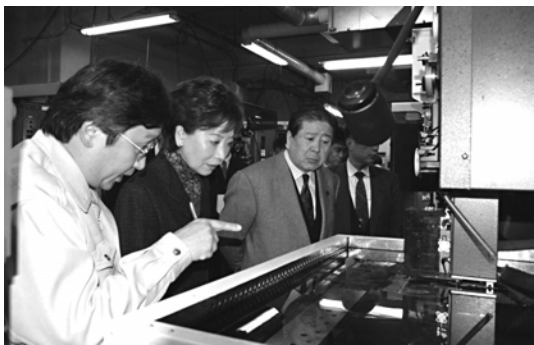
※二次救急(入院患者受け入れ病院)

※三次救急(二次救急で対応できない患者に対処、救急救命センター)

中小企業向け追加支援策を矢継ぎ早に!!

市内企業の倒産件数は平成20年4月から9月まで、負債額1000万以上の累計が、81件144億6500万円、前年同期比でも件数、金額とも50%も増加しています。

銀行の貸し渋りに会わないよう信用保証協会100%の中小企業対策融資制度の継続や不況対象業種を698に拡大、市の事業の早期・前倒し発注を行うことや緊急保証の認定要件の緩和など中



中原区内の企業を視察する公明市議ら

小企業対策融資制度の不況対策資金の拡充を行いました。

11月よりステップI、ステップIIの内容が実施され、平成21年度予算にはステップIIIとして大幅に支援策が拡充されます。

「学校裏サイト」対策図れ!!

いじめの温床とされるインターネット上の掲示板「学校裏サイト」は全国で3万8000件。いじめのIT化が進んでおり、本市でも、裏サイトは中学校に多く、悪質な書き込みが存在することが明らかになりました。対応と、教室でのチェック体制、そして保護者、地域における問題意識を共有した具体的な対策を求めました。

教育長は「子供たちをネット被害から守るために、保護者や専門家等との連携でネット被害者に関する相談体制の整備を行ない、サイトの危険性についての啓発や保護者向けリーフレットの作成・インターネットトラブル防止に関する講師派遣等を推進していく」と答弁しました。

カーボン・チャレンジ 川崎エコ戦略が始動!!

カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)——環境と経済の調和と好循環を推進し、持続可能な社会を地域規模で実現するため①川崎の特徴・強みを活かした環境対策②環境技術による国際貢献③多様な主体の協働によるCO2削減の取り組みの三つを柱に全市をあげての取り組みを進めています。このため平成20年度予算に12億9,400万円の予算を計上し取り組みを進めています。

環境対策としては、先端産業創出支援制度の創設や臨海部の企業間連携によるエネルギー利用、資源エネルギーの循環・有効利用を進めるエココンビナートの形成に取り組む。国際貢献では、環境技術情報センターを設置や川崎国際環境技術展を開催し、優れた環境分野での国際ビジネスマッチングの場を提供します。

国内最大級の太陽光発電

川崎市と東京電力の共同で、一般家庭向けの太陽光発電では国内最大級となる事業を進めることになりました。2か所の発電所の電力は約2万キロ・ワット。一般家庭5900軒分の発電量を見込む。2011年度から運転開始予定で、年間約8900トンのCO2排出量を削減する。



浮島太陽光発電所の完成予想図(東京電力提供)

災害弱者を守れ 高齢者・障害者の名簿登録スタート

平成19年9月議会代表質問で明らかになった災害時要援護者名簿の登録が始まりました。要援護者に一番身近な民生委員・児童委員の役割と町内会・自治会・自主防災組織との連携について対応を質しました。

健康福祉局長は災害時に必要な高齢者等の情報を民生委員が持っており、名簿登録後は情報を共有し、支援組織の一員として平常時から要援護者の状況把握を行っていただくと答弁、さらに制度をより充実させるために、手あげ方式と同時に同意方式も進め、要援護者の確実な把握に努めていくことが明らかになりました。



名簿への登録が速やかな避難支援につながります(障害者への避難支援訓練)／「市政だより」より転載

＊ホットニュース＊ 新名所・東扇島東公園がオープン!!

災害時は首都圏の物流拠点に、そして平常時には市民の憩いの場として、アサリ採りもできる人工海浜のほかバーベキューサイトやドッグラン、スポーツなどができる多目的広場として東扇島東公園が昨年4月26日にオープンしました。



川崎駅東西自由通路に エレベーター設置!!

ベビーカー利用者や高齢者の方から要望の多かったエレベーターが昨年10月東西自由通路に設置されました。

これで安心して自由通路が使えるとたくさんの方から喜びの声をいただきました。南側通路日航ホテル側への設置も推進しています。

